

——— 全国に広がる病院群 ———



——— JCHOグループの特徴 ———

全国規模の組織



北海道から九州まで、全国57病院のネットワークがあります

働く場の多様性



地域の療養生活を支えるさまざまな場面で力を発揮することができます

充実した教育・研修体制



本部・地区・病院の連携による充実した教育・研修体制が整備されています

働き続けるための仕組み



希望をふまえた施設間の異動や、各種の休暇・休業制度があります



令和4年度版



独立行政法人 地域医療機能推進機構 (JCHO)
〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12
TEL: 03-5791-8220
FAX: 03-5791-8258
URL: <https://www.jcho.go.jp/>

ジェイコー ナース

知ってる?
ジェイコー

ジェイコー
JCHO

独立行政法人 地域医療機能推進機構

NURSING STAFF RECRUIT GUIDE

ジェイコー 安心の地域医療を支えるJCHO

JCHO:ジェイコー(独立行政法人 地域医療機能推進機構)は、北海道から九州までの各地に57の病院と健康管理センター、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等を有する全国的な組織です。平成26年4月1日に設立され、約13,500人の看護職が働いています。

多様なニーズを持つ地域の人々の生活を支えるため、チーム医療のキーパーソンとして、看護職は今後ますます重要な役割を担うことになります。JCHOでは、看護職のひとりひとりが自分らしく働きながら、専門職として学び続けることができるよう、充実した研修・教育体制や休暇制度を整えています。

ともに地域医療を支える新たな仲間をお待ちしております。

独立行政法人 地域医療機能推進機構
理事長 山本 修一



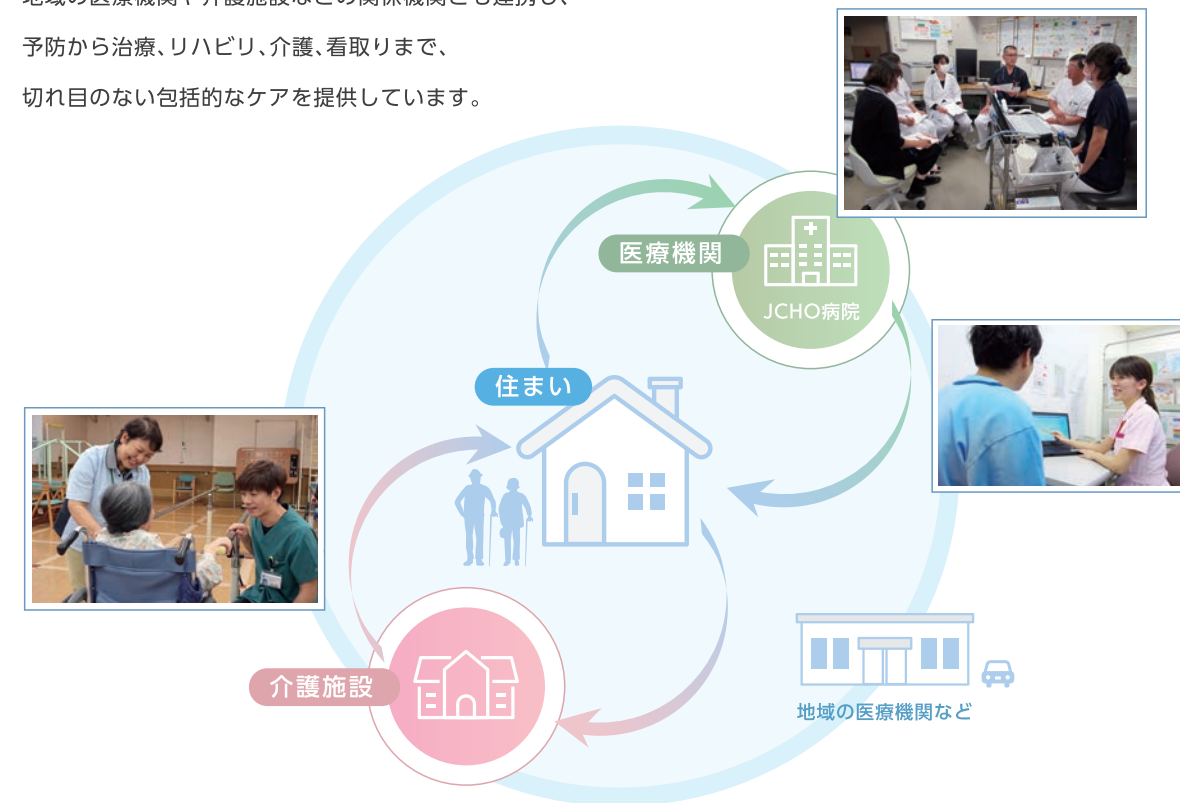
地域包括ケアシステムで予防から看取りまで

JCHOが目指すのは、施設完結型ではなく地域完結型の医療システム。

地域の医療機関や介護施設などの関係機関とも連携し、

予防から治療、リハビリ、介護、看取りまで、

切れ目のない包括的なケアを提供しています。



JCHOの看護理念

地域住民の幸福な生活を支える看護

目指す

JCHOが目指す看護職

地域医療・地域包括ケアの要として
「暮らしを支える医療」を担う看護職へ

生活を
支える



地域社会における自分たちの役割・機能を理解し、患者さん・利用者さんのニーズをとらえ、その人らしい生活を支えるためのケアを提供できる

チームで
働く



組織の一員であるとともに地域包括ケアを支える要として、多職種の視点や専門性を理解し、協調性と柔軟性をもって、チームの中での役割を担える

学び
続ける



自己の課題を明確にとらえ、時代や環境の変化に対応しながら、主体的に学び成長し続けることができる

学ぶ

学び続けるためのしくみ

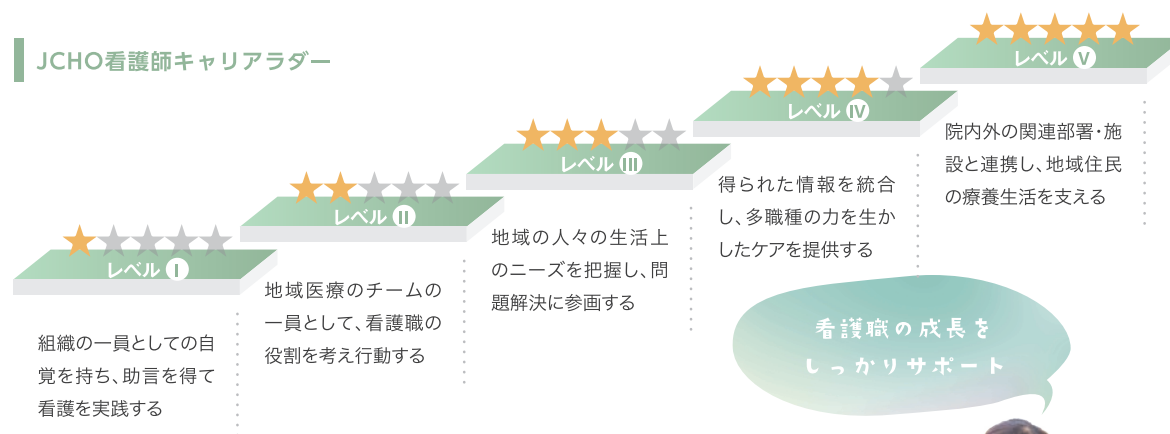
病院・地区・本部の連携による研修体制で、
ひとりひとりのステップアップをサポート

JCHOでは、全国57の病院と、エリアごとの地区事務所、そして法人本部が連携しあい、各種の研修により地域医療に貢献できる人材の育成を行っています。

詳しくはこちら



JCHO看護師キャリアラダー



JCHOのすべての病院では、共通のキャリアラダーに基づく院内教育体制を整備しています。新人から中堅、ベテランまで、自分にあったペースで成長していくことができます。院外の研修受講も積極的に支援しています。

活躍する

JCHOで活躍する看護職

グループ病院のメリットを生かし、
それぞれの価値観やライフスタイルにあわせ、
自分らしいキャリアを築いていける環境

JCHOでは多彩なキャリアパスを用意しています。
ステップアップに必要なスキルは、各種研修を通じて身につけることができます。
ワークライフバランスを支援する取り組みも積極的に進めており、
全国各地の病院や附属施設のネットワークの中で、
自分にあった役割や働き方、働く場所を選びながら、長く活躍できる環境です。

看護職としてのキャリア Career



看護実践を磨く

- 院内の新人教育

チームリーダーとして活動

- 特定行為研修

役割モデルとして活動

- 看護管理者としての研修

看護職としてのスキル
Skill



JCHOは指定研修機関となっています

本部や地区で研修を実施しています

Work-Life Balance

JCHOだから、長く、安心して働ける。

仕事とプライベートを両立しながら、キャリアと学びを継続できる環境を目指し、多彩な支援体制を整備しています。ひとりひとりが自分らしいライフスタイルを実現できるよう、最大限にサポートします。

ライフイベントに応じた異動



育児・介護と仕事の両立



研究休職を活用し大学院進学

